じゅんかん

## 日本館からみた"ていねい"な循環を考える



### しおせ たかゆき

## 自己紹介・・塩瀬隆之



1998年 京都大学大学院工学研究科精密工学専攻修了 <sub>へい</sub>

2002-2004 ATR知能ロボティクス研究所客員研究員 併任

2002-2009 京都大学大学院情報学研究科 助教

2009-2012 京都大学 総合博物館 准教授

2012-2014 経済産業省 産業技術政策課 課長補佐

2014年7月より現職復帰







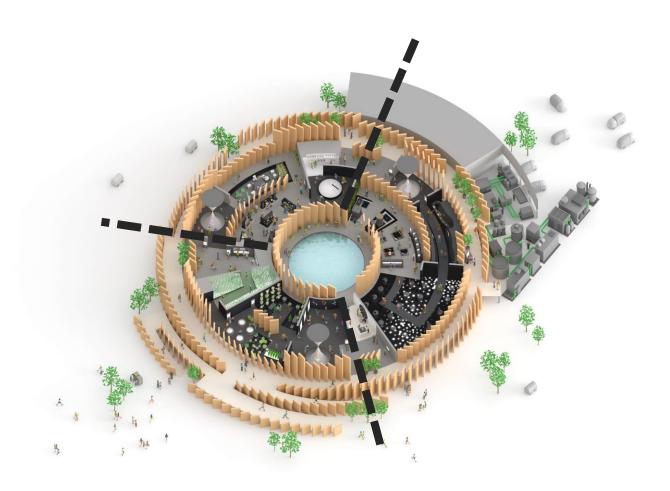
## 日本館もサーキュラーエコノミー?

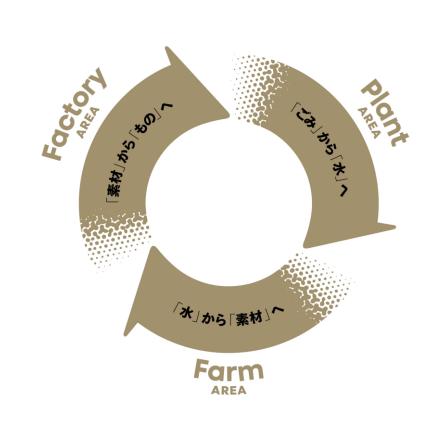


はいきぶつ

- ・廃棄物(ごみ)を減らし
- •製品を長持ちさせたり
- •素材を何度も使うなど
- 資源を大切にする

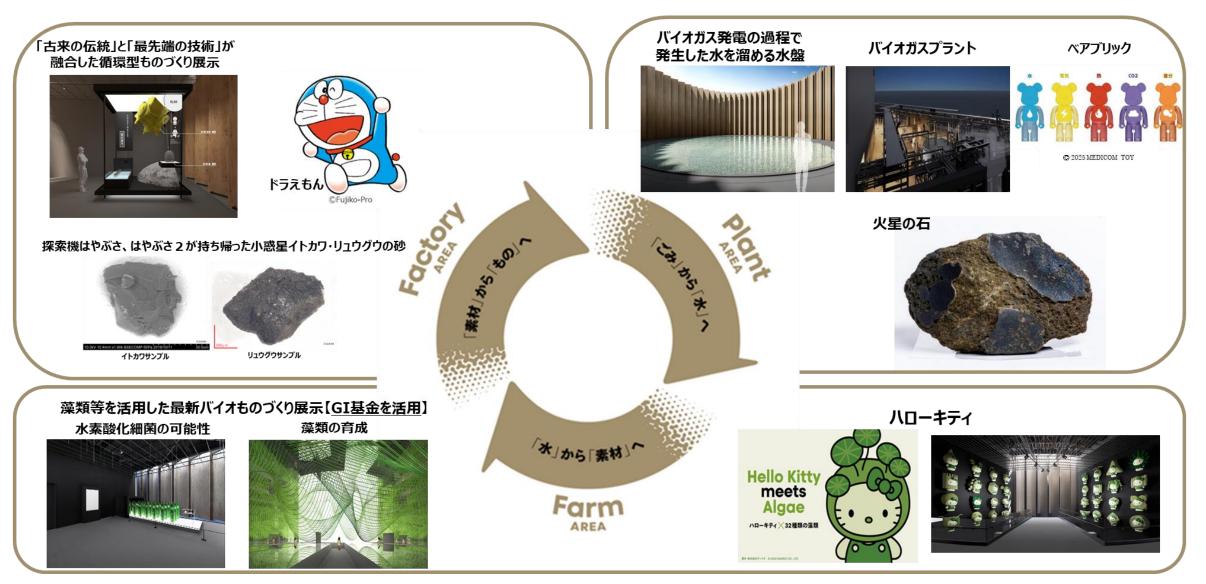
## 日本館の建物も見るからに循環



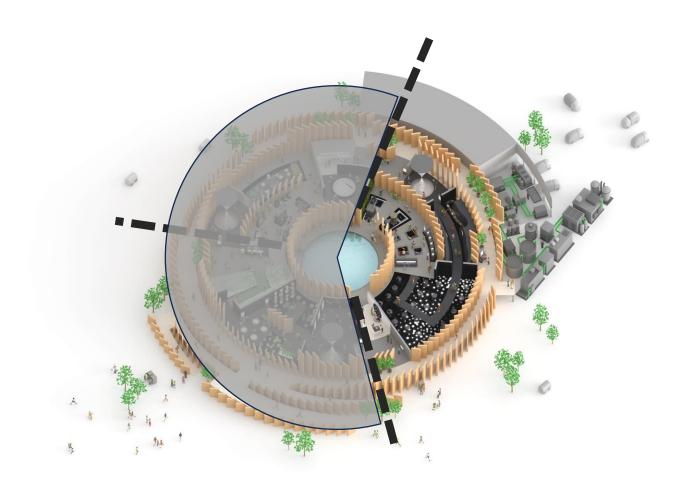


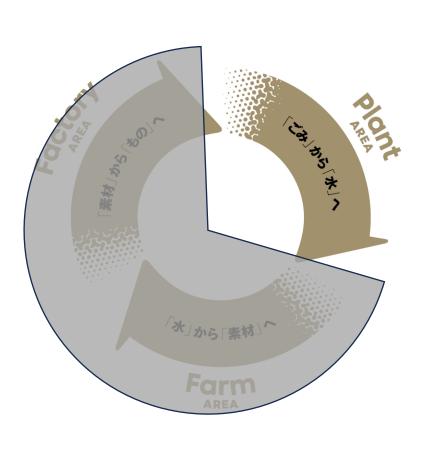
3つのエリアにわかれてます

## プラント・ファーム・ファクトリの3エリア



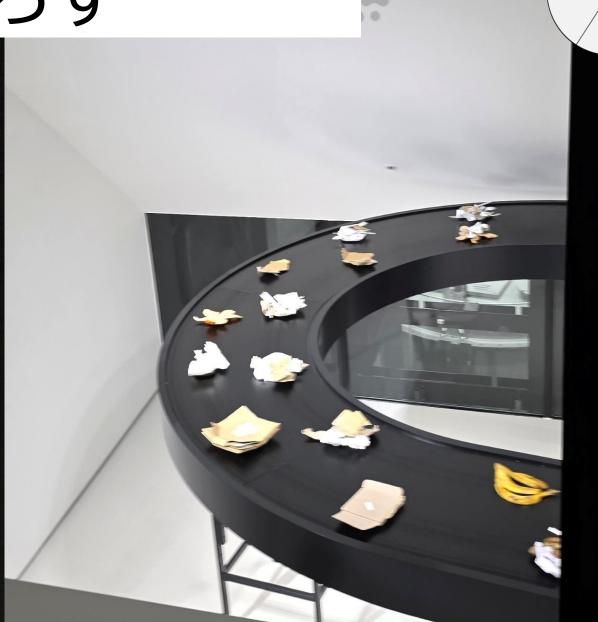
## まずはプラントエリア





## 廃棄物(ゴミ)を減らす





プラント エリア

プラントエリア

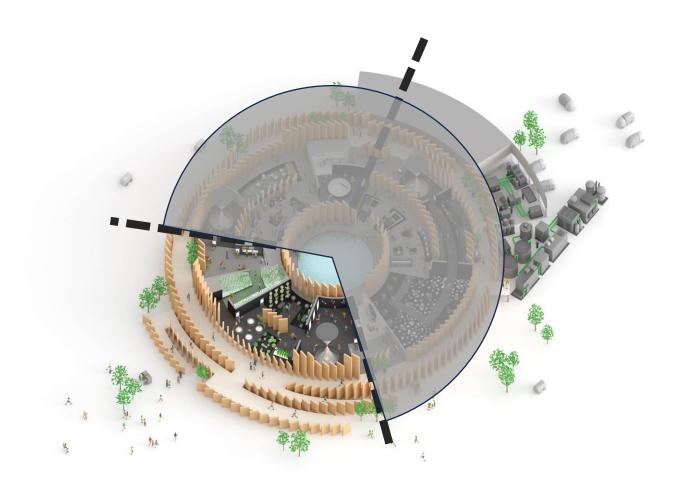
# 美味しく長持ちさせる麹菌

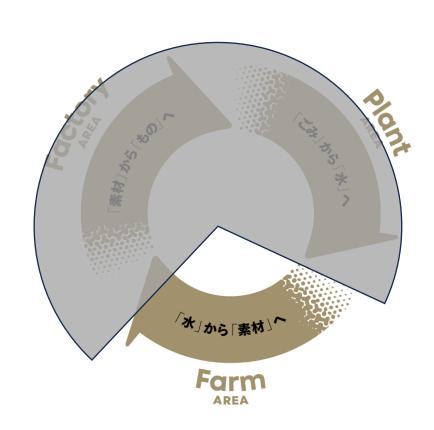


プラント エリア

プラントエリア

## つぎにファームエリア







ファームエリア



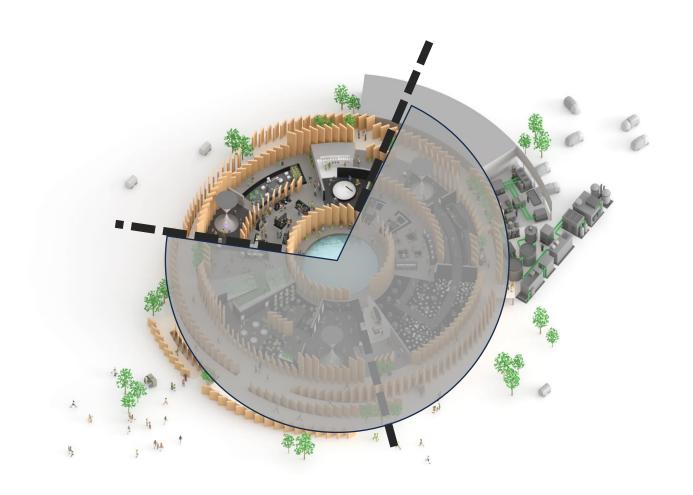
## 微生物の大集合がかわいい

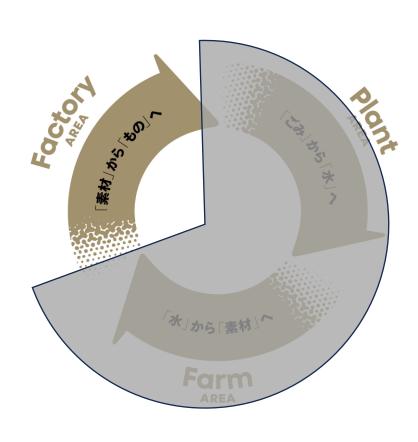




ファームエリア

## そしてファクトリーエリアへ









## 1300年うけついできた伝統



ファクトリ-エリア



The state of the s

【提供:経済産業省】

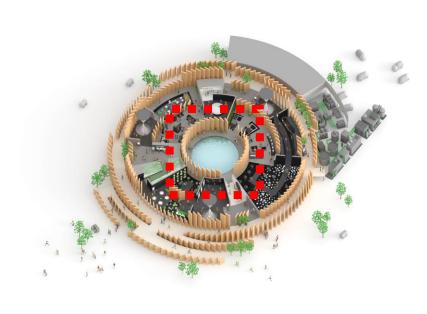
**Built soft** 

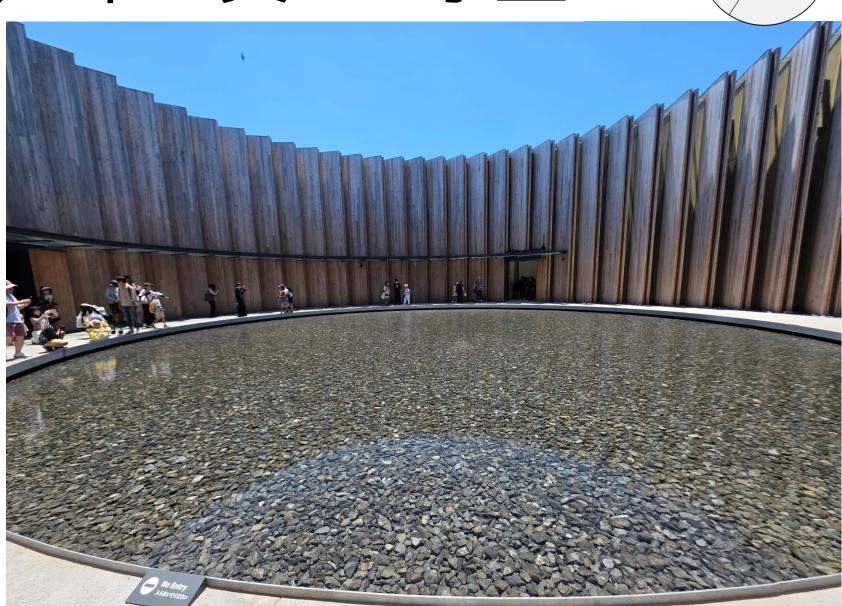
TRANSMITTABLE.

ファクトリーエリア

# 日本館のど真ん中は美しい水盤

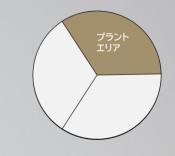






プラントエリア

## 火星の石もあります



界最大級の「火星の石



プラントエリア

## 日本館デザインのリーダーは 佐藤オオキさん



日本館総合プロデューサー/デザイナー

#### 佐藤オオキ

1977年カナダ生まれ。2000年早稲田大学理工学部建築学科首席卒業。2002年早稲田大学大学院修了後、デザインオフィスnendo設立。東京とミラノに拠点を構え、建築・プロダクトデザイン・ブランディングなど多岐に渡ってデザインを手掛け、イタリア・フランス・イギリスでのデザイナーオブザイヤーなど、世界的なデザイン賞を多数受賞。TOKYO2020の聖火台デザインを担当した他、現在はバリ五輪開催の2024年に向けてフランス高速鉄道TGV新型車両のデザインに取り組む。

@Allan Abani

出典:WEBサイト月刊日本館

## 基本構想は2020年に考えました









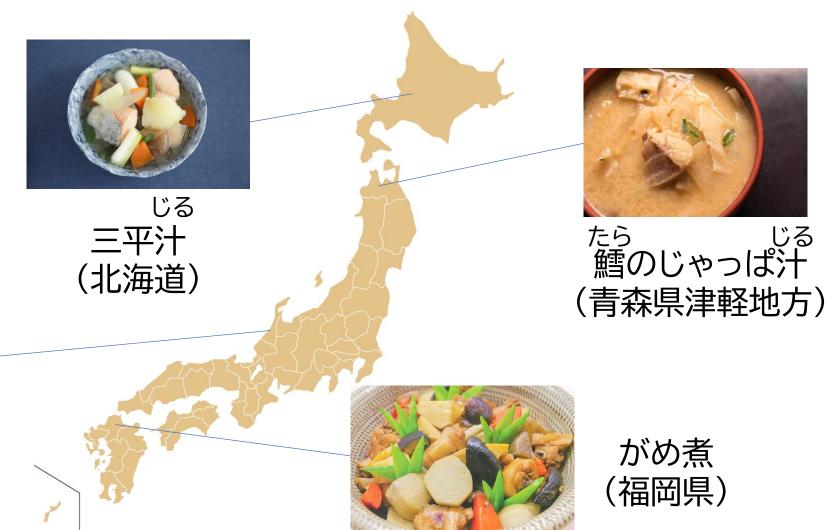


https://www.meti.go.jp/policy/exhibition/Osak aKansai-JapanPavilion-Workshop.html

# 日本では素材や資源を大切にしてきました

ていねいにわけて ていねい につかえば ゴミというものは そもそも出なくなるはず きょうど

### 郷土料理とは素材を食べつくす知恵



<sub>じる</sub> めった汁 (石川県)

出典:うちの郷土料理(農林水産省)

(https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k\_ryouri/index.html)

日本ではていねいな使い方をずっと受けついできました

ていねいにまわし次の世代にていねいにおくることで、百年、千年と英知を受けつげる

### せんぐう

### 1300年受けついできた神宮式年遷宮に学ぶ



御用材だけでなく水源としての森 や動物の生活圏も守っていく持続 可能な森づくりも大切にする せいでん

神社の正殿を造営・修理し、新たに

ごしんたい うつ

建てた正殿に御神体を遷すこと。 伊勢神宮では20年に一度、第1回 (持統天皇4年、690年)から第62 回(2013年)までおよそ1300年 にわたり、熟練の技を受けついで きた。

UNESCOの世界遺産登録基準では、真正性や完全性の観点で日本とは考え方が異なる。

出典:https://www.isejingu.or.jp/

季節の変化は美しい かっこく かんきょう しかし素材にとっては過酷な環境でもある



より大きな循環のなかにあることの前提が理に適う

### IV

展 示 体 験 11



日本館のテーマ

いのちといのちののあいだに
-Between Lives-

#### テーマコンセプト

来場者は、他者と自分、人と人以外、生物と非生物など、様々ないのちといのちの「あいだ」(境界・差異・関係性)を見つめることで、それぞれのいのちの尊さや、互いに支えあっている存在であることを自覚する。

自分たちが大きな地球の中で生きていることに気づき、他のいのちと共 創しながら大きな循環を生み出す大切さを学ぶ。こうした一連の体験を経 て、SDGsに代表される社会課題を自分たちのこととして咀嚼し、未来社会 のつくり手としての行動変容を促す。 出典:日本館基本構想



### 「、」「、」・・「あいだ」に注目すること

## 展 示 体 験 (1

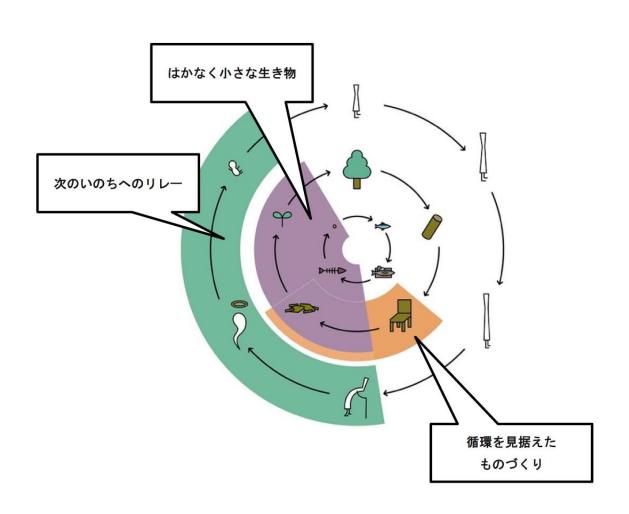
日本館は、「いのち輝く未来社会のデザイン」という万博全体のテーマを前提として、人間だけが特別ないのちではなく、人間とそれ以外の生命や、無機物まで含め「いのち」と捉える考え方をもとに、「いのちと、いのちの、あいだに」をテーマとして定めた。

「あいだ」という言葉には、「境界・差異・関係性」といった意味が込められている。私たちの生活は「境界」によって隔てられた「差異」ある自分以外のいのちと、多様な「関係性」を築くことで成り立っている。「いのちと、いのちの、あいだ」を通じて、膨大な自分以外のいのちに支えられることで、私たちは生きていくことが可能となっている。

そして、いのちは、地球という限られた空間の中で、形を変えながら巡っている。地球に生きるすべてのいのちは、地球という単位の中で循環する一つの要素である。

出典:日本館基本構想

### いろいろなあいだをつなぐ 小さな生き物の大きな働きに注目したい







### 世代をまたがる大きな時間軸の循環も大切に

# 展 CJ

が地球といういのちの束の一部 (地球という船の一員) であるということへ の気づきの機会を提供する。

そして、他のいのちと自分のいのちがつながっているということに気づくことで、地球で起こっている持続可能性の問題を自分たちのこととして認識するとともに、「炭素中立型の経済社会」や「循環型社会」といった未来社会の実現に向けて一人一人のアクションが必要であることへの共感を促していく。

一つのいのちとして生きる私たちの生活は、豊かさへの追求とは切り離すことが出来ない。日本は古来、自然の循環に寄り添い、いのちを次のいのちに発展的につなげながら文化を育んできた。持続可能な社会とウェルビーイングな社会の双方を実現していくには「いのちと、いのちの、あいだ」を発展的につないでいくことに手がかりがあることを示していく。

その結果、世代や国籍を問わず、すべての来場者に未来社会へのアクションを促す。さらに、日本館の体験を経た人々、とりわけ子どもや若者をはじめとする「万博チルドレン」が、いのち輝く未来社会のデザインをリード

していくきっかけとなることを目指す。

出典:日本館基本構想

### 次世代の万博チルドレンと考える日本館







デジタルとリアルをつなぐワークショップ(8~10月)

### お家でできる日本館ワークショップ

からいまっこう

冷蔵庫から「発酵(はっこう)」「醸造(じょうぞう)」「麹(こうじ)」の字を探して写真をとりまくろう!









### ②もう一花選手権

ゴミ箱に捨てそうになった けれど違う使い方を考えて ゴミと呼ばずにすんだもの



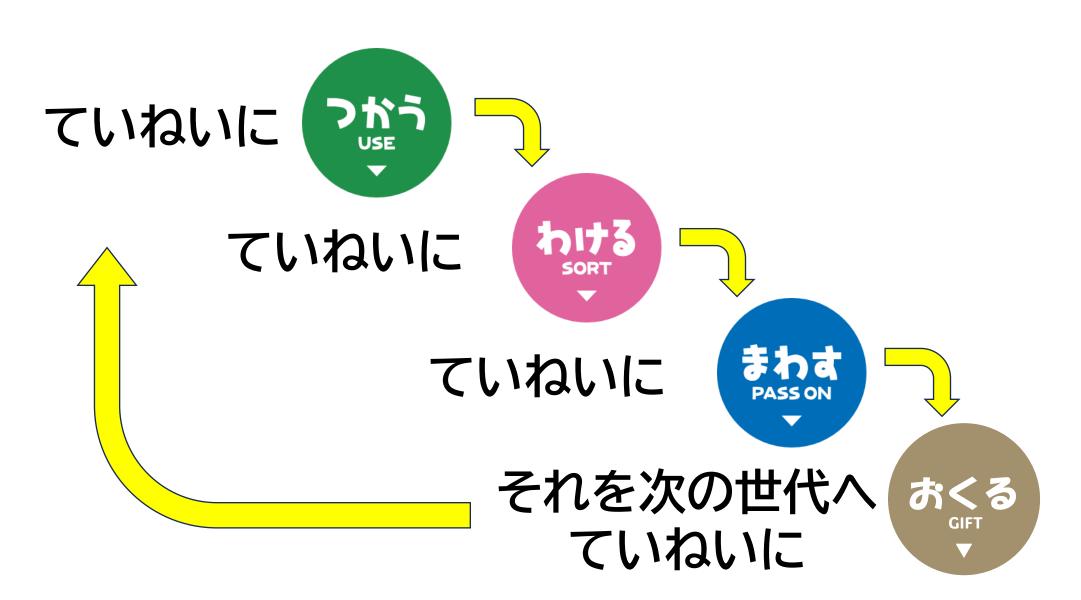
菓子箱って鉛筆入れに最適



牛乳パックが油はねガード

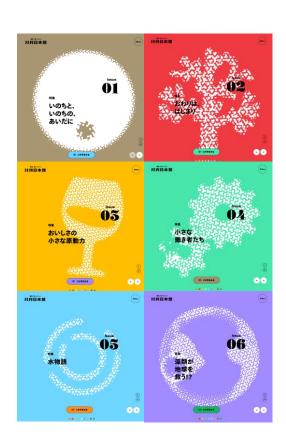
じゅんかん

## ていねいな循環をていねいに回し続ける



### VR日本館や月刊日本館もご覧ください!





https://2025-japan-pavilion.go.jp/virtual/

https://2025-japan-pavilion.go.jp/magazine/